

# Network newsletter

2014.2

No.23

## 目次

- 『知っておきたい / 助成金申請の“イロハ”』参加者募集・・・P1
- 『こまき協働のまちづくり講座』参加者募集・・・P2
- まちを育む市民と行政の協働交流会・・・P2
- 気軽に出かけよう!  
はじめてのボランティア・市民活動体験講座・・・P3
- 未来の『つくり場』～できることから始めてみよう～・・・P4
- 『元気はつらつ、セカンドライフ!』・・・P4
- 『Vプロジェクト -1月末ステータス報告-』・・・P5
- 家庭菜園「明るい農縁」だより その9・・・P5
- 池之内市民菜園日記 part3・・・P5
- 八雲町ホタテ販売会に約 500 人が行列!・・・P6
- インフォメーション：新会員紹介・・・P6

平成 25 年度小牧市市民活動センター研修事業 第3回 NPO 講座

## 講座案内

NPO・ボランティアのための資金マネジメントカアアップ講座&相談会

## 『知っておきたい! 助成金申請の“イロハ”』参加者募集

ボランティア団体や市民活動団体にとって活動が活発化すればするほど、活動費の獲得が重要な課題となつてきます。「助成金」は、そうした団体の自主的な事業を財政的にバックアップする重要な資金源の一つと言えます。

小牧市では平成 17 年度より「小牧市市民活動助成金」がスタートし、これまで多くの団体が助成金を得ることで、さまざまな地域課題に取り組み成果をあげてきました。一方、民間企業においても利益の一部を社会に還元しようという動きが活発になり、平成 22 年に東海ゴム工業と当ネッ

トワークとの協働により助成プログラム「TRI 夢・街・人づくり助成金」が設立されました。

本講座では、午前中、この2つの助成金に加え、今年度スタートした事業指定プログラム「ミエルカ」(あいちコミュニティ財団運営)など、身近な助成金について詳しく説明をします。

また午後からは個別相談会(申込先着順)も実施しますので、お気軽にご相談ください。

それぞれの助成金担当者が、  
わかりやすく説明します。  
質問にもお答えしますので、ぜひ  
この機会をご利用ください!



スタッフ いろいろ

## 知っておきたい! 助成金申請の“イロハ”

■講座 10:00~11:40

- 内容 1. 助成金申請の“イロハ”を知ろう!  
2. 身近な助成金の性格と特徴を知ろう!
- 小牧市市民活動助成金
  - TRI 夢・街・人づくり助成金
  - 事業指定プログラム「ミエルカ」

など

ところ まなび創造館 研修室 1

定員 15 名(申込先着順) 無料

とき: **3月8日(土)**

■相談会 13:00~16:00

内容 助成金に関する個別相談会(無料)  
相談アドバイザー

中尾さゆり氏(ボランタリーネイバーズ理事・相談事業部長、モリコロ基金相談コーナーアドバイザー)

ところ まなび創造館 学習室

定員 5 団体(申込先着順) 無料

※相談対応時間は、1 団体 30 分(申込先着順)

※事前に相談内容の概要をお知らせください。

※講座のみ、相談会のみでも受け付けています。

講座案内

『こまき協働のまちづくり講座』 参加者募集

小牧市では、平成 24 年度より、市民と行政それぞれが協働で取り組むべき地域課題を提案し、解決に向けた事業を行うことで「市民が輝く活気あふれるまち」を目的とする『協働提案事業化制度』をスタートしました。

本講座では、協働への理解を深めるとともに、制度の概要や申請のためのポイントを知り、みなさんのスキルやまちづくりへのアイデアを協働提案につなげるためのノウハウを学びます。

協働(協働提案事業化制度)に関心のある方ならどなたでも参加できます！  
お待ちしております！



『こまき協働のまちづくり講座』

とき：3月13日(木)  
19:00~21:00

ところ：小牧市公民館4階  
視聴覚室

定員 30名(申込先着順)  
参加費 無料

<講師>三島知斗世 氏

NPO法人ボランタリーネイバース  
理事・調査研究部長

<内容>

- 1) 協働のコツを知ろう
- 2) 協働提案事業化制度の概要と流れを知ろう
- 3) 申請するためのポイントを知ろう
- 4) 質問コーナー

市民活動センターReport

まちを育む 市民と行政の協働交流会 1月16日(木)

「協働のまちづくり」をすすめるにあたり、市民と行政が気軽に交流できる関係をつくろうと「まちを育む市民と行政の協働交流会」を開催し、市民と市職員合わせて約 45 人が参加しました。

5つのテーブルに別れた参加者は、まずは自己紹介からスタート。その後、「防犯・防災」「教育・子育て」「保健・福祉」などのテーマでそれぞれ活発に意見交換を行いました。

終了後のアンケートには、互いを知る良い機

会になったとの声が多く、今後もこうした場を設けてほしいとの感想が多く寄せられました。





平成 25 年度小牧市市民活動センター 第 2 回 NPO 講座  
2 月 10 日 (月) ~ 23 日 (日)

## 気軽に出かけよう！

## はじめてのボランティア・市民活動体験講座 Vol.2

昨年 10 月に引き続き、ボランティアや市民活動に興味がある方が、実際に活動に参加するプログラム「気軽に出かけよう！はじめてのボランティア・市民活動体験講座 Vol.2」を開催し、さまざまな分野の活動をそれぞれ体験していただきました。



### ▲ボランティア「まどか」

とき：2月10日（月）10時～15時

場所：ふれあいセンター2階和室

活動内容：

高齢者や認知症の方およびその家族の方とのふれあい交流活動に参加。軽い運動や合唱、折り紙など、楽しくお喋りなどしながら一緒に過ごしました。

### ▲小牧歴史ガイドボランティアたぶの木会

とき：2月19日（水）10時～12時

場所：小牧山・小牧市歴史館

活動内容

小牧山と小牧市歴史館を散策しながら、歴史ガイドボランティアの活動を体験しました。



### ▲愛林会

とき：2月22日（土）9時～11時30分

場所：大草城跡

活動内容

里山整備活動として、落葉掻きをしました。

### ▲尾張すずなり会

とき：2月23日（日）9時30分～12時

場所：うなぎ谷 すずなりの森

活動内容：

イベント「冬の里山散策会～椎茸・ひらたけの菌打ち体験～」のお手伝いをしました。



### ◀おはなしの森

とき：2月23日（日）14時30分～15時

場所：図書館本館2階 おはなしの部屋

活動内容

自分で選んだ絵本を持参し、読み聞かせを体験しました。

平成25年度 小牧市市民活動センター人材育成・研修・交流促進事業

## 未来の『つくり場』～できる“コト”から始めてみよう～

2月19日(水)

昨年11月と12月に「まちのかたり場」を開催し“わたしたちのまち小牧をこんなまちにしたい!”“自分達の活動や思いをまちづくりに活かしたい!”と、そんな思いを持つ市民が集まり、まちの課題や解決策などにつ



いて意見交換を行いました。

そして、さらに踏み込んで、「できることから始めてみよう」をテーマに「未来の『つくり場』」を開催し、7名が参加しました。

参加者は、それぞれが取り組んでみようとする目標を掲げ、半年後に途中経過を報告し合うことを約束。つくり場から生まれた7つの事業が、今後どのように育っていくのか楽しみです。

・ファシリテーターには星野博氏(NPO法人志民連いちのみや理事長)を招き、豊富な経験を交えながらナビゲートしていただきました。

平成25年度 小牧市市民活動センター団塊世代啓発事業

### アクティブシニア講座

## 『元気はつらつ、セカンドライフ!』～笑う顔には福が来る～

1月18日(土)

アマチュア落語家の三遊亭楽団治さんを講師に招き、団塊世代のセカンドライフの過ごし方をテーマに講演会を開催しました。楽団治さんは、「定年後に自由に使える時間は、働いてきた時間とほぼ同じなんですよ」と計算してみせると「これからの人生、好きなことを大切に過ごしましょう」と呼びかけ、日々の暮らしの中で目標を持つことが大切と、手帳やカレンダーに予定を書き込む習慣を勧めました。

またボランティア活動への参加にも触れ「ボランティアをやっている人は皆さん口をそろえて、自分のためになっていると言います」と話し、健

康で生き生きとしたセカンドライフを送るためには、積極的に外に出て人と会話することが大切だとアドバイスしました。



笑いすぎてシワが増えました～!



スタッフ ひらて

▲関西弁での楽しい講演に、会場は始終笑いに包まれました。



## V プロジェクト -1 月末ステータス報告-

年が明けたと思ったら、1月は、早くも行ってしまった。2月は逃げ、3月は去ってしまう。活動も終盤に入ったが、開き直って、焦らず、じっくりとまとめようと思う。

### ■全般

各班とも概ね調査を終えた。2月から調査結果の分析・評価を実施し、年度末までに報告書を作成する。

### ■行政調査班

1 月末で行政職員のアンケート調査を終了した。回答率は 78%。結果を集計・分析中。分析終わり次第、評価、まとめに入る。

### ■地域活動団体調査班

11/26 実施の市民活動団体で出た意見集約は完了。地域 4 団体のヒヤリング調査は、1 団体を残すのみ。ヒヤリング調査終わり次第、評価、まとめに入る。

### ■企業調査班

訪問調査を実施した 3 社のうち、協働に前向きな 2 社に対し最優先で対応中。対応可との返事があった 7 社のうち訪問していない 4 社は、2 社は 2 月中訪問で調整中。

残り 2 社は、先方の希望で次年度早々に実施する。従って、今年度は、5 社の訪問調査を終えた 5 社の結果についてまとめる。なお、報告書作成後も、前出 2 社と返事のない企業 28 社（調査協力依頼数 42 社のうち）に対してあらためて調査協力依頼の手紙を出し、調査を継続する予定である。

年度末まで 2 ヶ月足らず、まとめに邁進したい。私自身、どんな報告書になるか期待している。

文責：Vプロジェクトリーダー 佐橋 克己

## 家庭菜園 その9 「明るい農緑」だより

### 春に向け農業指導開催

1月12日（日）、橋本農業アドバイザーより、春に向けての土づくりや種の蒔き時期などについて指導を受けました。会員さん同士も「あそこの店は種が豊富にあるよ」「苗はあの店が安いよ」と情報交換。畑の野菜を囲んで楽しいひとときを過ごしました。暖かい春が待ち遠しいですね！



## 池之内市民菜園 日記 part8

### 菜園にモグラ塚発見！！

菜園にモグラ塚が見られるようになったため、モグラ除けに効果がある「ペットボトル風車」を作ることになり、2月12日に利用者のみなさんで作りました。



ペットボトルの振動でモグラの感度を妨害して撃退するんだなんて、知らなかった～！



スタッフ  
かいてん

### 『池之内市民菜園 写真展&かかし展』

平成25年5月のスタートから現在までの菜園の様子を記録した写真展と、利用者のみなさんと事務局スタッフが制作したかかし展を開催します。ぜひ見に来てくださいね！

<期間>2月26日（水）～4月14日（月）

<場所>市民情報センター（小牧駅構内）

## ■八雲町ホタテ販売会に約 500 人が行列！

2月16日(日)

今年も、小牧駅西にぎわい広場において、北海道八雲町落部漁協より運ばれたホタテの販売会を開催しました。

平成20年から始まったこの事業は、本市の友好都市である八雲町との交流と、中心市街地のにぎわい創出を目的に毎年開催。今では冬のイベントとしてすっかり定着し、今年も4トンのホタテが約30分で完売する盛況ぶりでした。スタッフには、ネットワーク会員33名が協力。寒さの中、早朝よりホタテの袋詰めや販売、会場整理などでお手伝いいただきました。



▲販売開始までの短い時間に、ホタテの袋詰め作業を急ピッチで進めるスタッフ。広場には、すでに人垣が。



▲昆布、小豆、鮭とばなどの八雲物産コーナーも人だかり！



▲落部漁協のみなさんにより、ゆでたホタテ、ホタテ入りソーセージ味噌汁の試食が振る舞われました。



上街道フェスタ実行委員会と「にんじん CLUB」のみなさんにも出店にご協力いただきました！ありがとうございました！



スタッフやまだ

## information information

### 《新会員紹介》(敬称略) ※H25年11月以降にご入会

- ◆個人 海田紗代子
- ◆市民活動団体 ちごりんの里山

### ■HP掲載情報大募集！

こまき市民活動ネットワークのHPで、イベントの告知や報告、会員の募集などをPRしませんか。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

### ■「池之内市民菜園」・「明るい農縁」利用者募集中！

それぞれ空き区画があり(2月25日現在)利用者を募集しています。興味のある方は事務局までお問い合わせください。

### ■震災遺児に進学の夢を！

#### 公益財団法人みちのく未来基金

東北大震災で親を亡くした子どもたちの高校卒業後の進学を支援するための基金です。当ネットワークでは、募金箱の設置にご協力させていただいています。

事務局で研修中の森川さんは「弁当男子」。そう、自分でお弁当を作ってきます。最近ではそれほど珍しくないのかもしれませんが、女ばかりの事務局としては興味津々。ちなみに本日のメニューは、玉子焼き(毎日必ず)、ほうれん草のおひたし(緑の野菜は欠かせません)、ハンバーグ(まとめて作って冷凍ストックしてあるのだとか)。一人暮らしがきっかけだそうです、感心しちゃいます。(ひ)

ネットワークニュースレター第23号

◎発行・編集：特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク ◎発行日：2014年2月25日

〒485-0041 小牧市小牧二丁目107番地 小牧市公民館4階

TEL：(0568)74-4011 FAX：(0568)74-4070

e-mail：komaki.civic-net@me.ccnw.ne.jp HP：http://www.npo-komaki.net/